



償還日(2016年3月18日)		第3期	
償還価額	10,154.73円	騰落率	-11.47%
純資産総額	15百万円	分配金合計	0円

(注)騰落率は収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

### ■本ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	追加型投信／海外／資産複合
信託期間	信託期間は2013年12月19日から2016年3月18日(繰上償還日)までです。
運用方針	米国の株式および債券を主要投資対象とし不動産投資信託(REIT)やマスター・リミテッド・パートナーシップ(MLP)等の幅広い資産に分散投資する投資信託証券への投資を通じて、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。各資産への資産配分は、市場環境や市場見通し等に応じ、柔軟に見直します。
主要投資対象	
本ファンド	以下の指定投資信託証券を主要投資対象とします。 ・ ケイマン籍外国投資信託 ゴールドマン・サックス(ケイマン諸島)ユニット・トラスト ①ゴールドマン・サックス米国インカム・バランス・ファンド ・ アイルランド籍外国投資証券 ゴールドマン・サックス・ファンズ・ピーエルシー ②ゴールドマン・サックスUS \$リキッド・リザーブズ・ファンド
指定投資信託証券①	米国の株式および債券、REIT、MLP等
指定投資信託証券②	主に米ドル建ての短期の市場性を有する金融市場証券
運用方法・組入制限	①外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。 ②投資信託証券への投資は、高位に維持することを基本とします。 ③株式への直接投資は行いません。
分配方針	原則として毎計算期末(毎年11月14日。休業日の場合は翌営業日。)に収益の分配を行います。投信会社が経費控除後の利子・配当等収益および売買損益(評価損益を含みます。)等の中から基準価額水準、市場動向等を勘案して分配金を決定します。

# GSアメリカン・ストラテジー 年1回決算コース

## 追加型投信／海外／資産複合

第3期(信託終了日2016年3月18日)

作成対象期間:2015年11月17日～2016年3月18日

## 受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「GSアメリカン・ストラテジー 年1回決算コース」は、米国の株式および債券、REITやMLP等、幅広い資産へ分散投資することにより、相対的に高水準の利回りと値上がり益の獲得を目指して運用を行ってまいりましたが、2016年3月18日に償還いたしました。ここに謹んで運用経過と償還内容をご報告申し上げますとともに、受益者の皆様のご愛顧に対しまして、厚く御礼申し上げます。

## ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

〒106-6147 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー

お問合せ先:03-6437-6000(代表)

受付時間:営業日の午前9時～午後5時 | [www.gsam.co.jp](http://www.gsam.co.jp)

## ■設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額 (分配落)	税 分	引 配	前 金	期 謄	中 落 率	投 資 信 託 証 券 比	純 総 資 産 額
(設 定 日) 2013年12月19日	円 10,000		円 一		% —	% —		百万円 15
1 期 (2014年11月14日)	11,587		0		15.9	99.2		32
2 期 (2015年11月16日)	11,471		0		△ 1.0	99.6		39
(償 還 日) 3 期 (2016年3月18日)	(償還価額) 10,154.73				△11.5		—	15

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 本ファンドには、ベンチマークは設けておりません。また、外国籍ファンドを主たる投資対象とし、当該外国籍ファンドの値動きを表す適切な参考指数は存在しないと考えております。

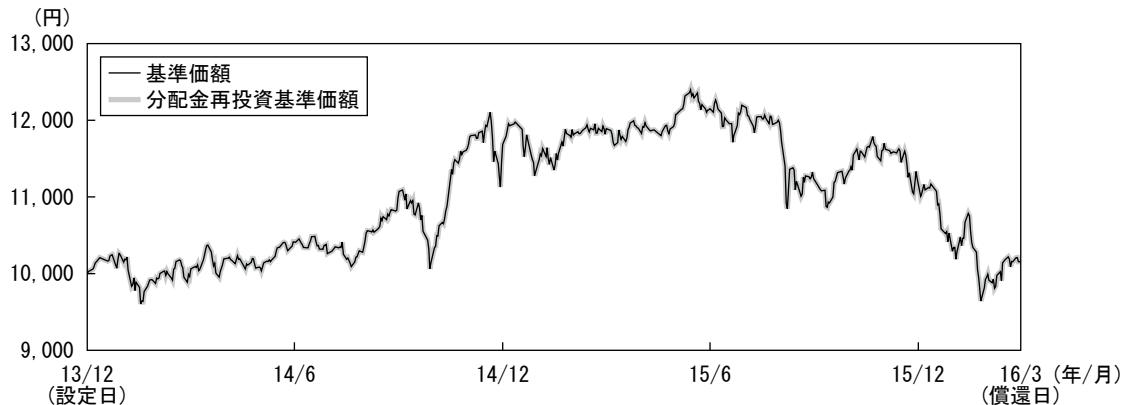
## ■当期中の基準価額と市況推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	投 資 信 託 証 券 比
(期 首) 2015年11月16日	円 11,471	% —	% 99.6
11月末	11,573	0.9	50.9
12月末	11,169	△ 2.6	99.0
2016年1月末	10,669	△ 7.0	99.0
2月末	10,024	△12.6	99.7
(償 還 日) 2016年3月18日	(償還価額) 10,154.73	△11.5	—

(注1) 謄落率は期首比です。

(注2) 本ファンドには、ベンチマークは設けておりません。また、外国籍ファンドを主たる投資対象とし、当該外国籍ファンドの値動きを表す適切な参考指数は存在しないと考えております。

## 設定以来の基準価額等の推移について（2013年12月19日～2016年3月18日）



- (注1) 本ファンドの値動きと比較する適切な指標が存在しないため、ベンチマークおよび参考指標を設定していません（以下同じ）。
- (注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注3) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客様の損益の状況を示すものではない点にご留意ください。
- (注4) 分配金再投資基準価額は、設定日（2013年12月19日）の基準価額を起点として指数化しています。

## 前期までの運用状況（2013年12月19日～2015年11月16日）

## 【第1期】（2013年12月19日～2014年11月14日 期末基準価額：11,587円 期中にお支払いした分配金：0円）

本ファンドは期を通じて、ケイマン籍外国投資信託（米ドル建て）ゴールドマン・サックス（ケイマン諸島）ユニット・トラストゴールドマン・サックス米国インカム・バランス・ファンド（以下、ゴールドマン・サックス米国インカム・バランス・ファンド）を高位に組み入れ運用しました。結果、当期のパフォーマンス（分配金再投資ベース）は、15.87%の上昇となりました。株式ポートフォリオ<sup>\*1</sup>および債券ポートフォリオ<sup>\*2</sup>が上昇したことや米ドルが対円で上昇したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

## 【第2期】（2014年11月15日～2015年11月16日 期末基準価額：11,471円 期中にお支払いした分配金：0円）

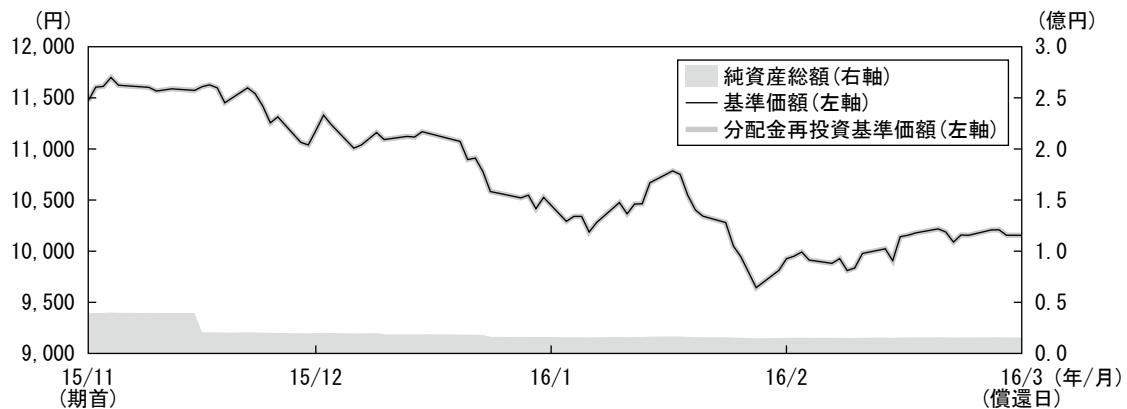
本ファンドは期を通じて、ゴールドマン・サックス米国インカム・バランス・ファンドを高位に組み入れ運用しました。結果、当期のパフォーマンス（分配金再投資ベース）は、1.00%の下落となりました。米ドルが対円で上昇したことなどが基準価額の上昇要因となった一方、株式ポートフォリオおよび債券ポートフォリオが下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

\* 1 株式ポートフォリオとは、株式、リート、M L P等、ファンダメンタル株式運用グループが主に運用を担当するポートフォリオを指します。

\* 2 債券ポートフォリオとは、社債（投資適格社債およびハイ・イールド社債）、バンクローン、転換社債等、グローバル債券・通貨運用グループが主に運用を担当するポートフォリオを指します。

## 運用経過

### ■基準価額等の推移について（2015年11月17日～2016年3月18日）



第3期首：11,471円

償還日：10,154円73銭

（期中にお支払いした分配金：0円）

騰落率：-11.47%（分配金再投資ベース）

(注1) 本ファンドの値動きと比較する適切な指標が存在しないため、ベンチマークおよび参考指標を設定していません。

(注2) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注3) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客様の損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

(注4) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額を起点として指数化しています。

### ■基準価額の主な変動要因

本ファンドの基準価額は、期首の11,471円から1,316円27銭下落し、償還日には10,154円73銭となりました。

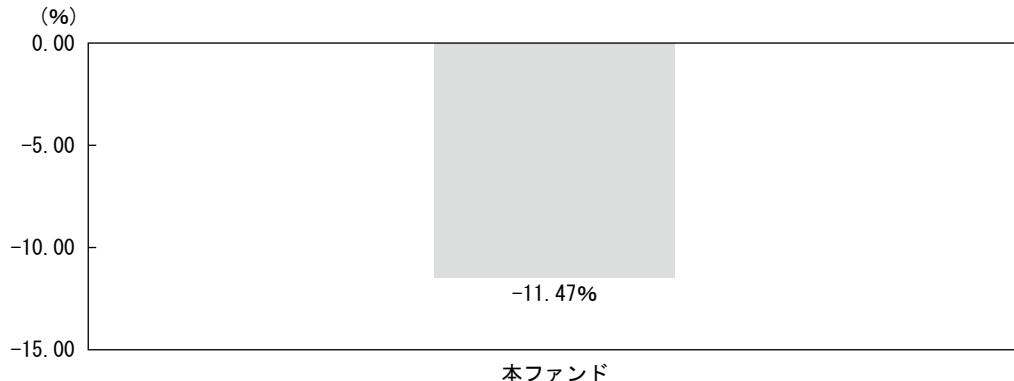
#### 上昇要因

組入れファンドを通じて投資している債券の利息収入や株式の配当収入などが、基準価額の上昇要因となりました。

#### 下落要因

債券ポートフォリオおよび株式ポートフォリオが下落したことや米ドルが対円で下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

### ■当期の基準価額の騰落率



(注) 基準価額の騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

当期の本ファンドのパフォーマンス（分配金再投資ベース）は、-11.47%となりました。

### ■組入れファンドの当期中の騰落率（分配金再投資、円換算ベース）

ファンド名	騰落率
ゴールドマン・サックス米国インカム・バランス・ファンド	-9.46%
ゴールドマン・サックスU.S.\$リキッド・リザーブズ・ファンド*	-6.96%

(注) 純資産価格の騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

\* 正式名称は「アイルランド籍外国投資証券（米ドル建て）ゴールドマン・サックス・ファンズ・ピーエルシーゴールドマン・サックスU.S.\$リキッド・リザーブズ・ファンド」です。

## ■投資環境について

### <米国株式市場>

米国株式市場は、前期末とほぼ同じ水準で期を終えました。（米ドルベース）。期の序盤は一進一退の推移となりました。期の中盤は、軟調な中国製造業PMI（購買担当者景気指数）などを背景に中国経済の減速懸念が高まり投資家のリスク回避姿勢が強まったことに加え、原油安が加速したことなどを背景に、米国株式市場は下落しました。期の終盤は、OPEC（石油輸出国機構）による減産観測などから原油価格が反発したことに加え、世界各国の中央銀行が緩和的な姿勢を示したことや、2月の雇用統計が市場予想を上回るなど米国経済指標が改善したことなどから上昇し、結局前期末とほぼ同じ水準で期を終えました。

### <米国債券市場>

当期は、米国債の利回りは低下（価格は上昇）しました。米国債の利回りは、期の序盤は概ねレンジ圏で推移しました。期の中盤は、原油価格の下落などを受けてインフレ期待が後退したことや、中国経済の減速懸念などを背景に世界の株式市場が下落し、投資家のリスク回避姿勢が強まることなどから、利回りは低下しました。期の終盤は、原油価格が反発したことに加えて、2月のISM（米供給管理協会）製造業景況指数をはじめとする米国経済指標が市場予想を上回った結果、投資家心理が改善し利回りは上昇しましたが、結局前期末を下回る水準で期を終えました。

米国ハイ・イールド社債市場は、期初から2月上旬までは、中国経済の先行き不透明感が高まったことに加えて、原油をはじめとする商品価格が下落したことなどを背景に、投資家のリスク回避姿勢が強まつた結果、スプレッド（国債に対する上乗せ金利）は概ね拡大傾向で推移しました。2月中旬以降は、原油価格が反発したことや、米国経済指標が市場予想を上回ったことなどを受けて、投資家心理が改善し、スプレッドは縮小したものの、期を通じては拡大する結果となりました。米国債利回りは低下した一方、スプレッドが拡大したことから、米国ハイ・イールド社債市場は前期末とほぼ同じ水準で期を終えました（米ドルベース）。

### <外国為替市場>

外国為替市場では米ドルに対して円高が進みました。

期初から、原油安の加速などから米ドルは円に対して概ね下落基調となりました。1月末に日銀のマイナス金利導入を受けて円に対して上昇する局面もありましたが、中国に端を発した世界経済の減速懸念や、F R B（米連邦準備制度理事会）による年内の利上げペースが緩やかになるとの見方が広がったことなどを受けて、下落基調が継続し、前期末比で円高米ドル安となる水準で期を終えました。

### <短期金融市場>

当期において、1カ月物米ドルLIBOR（ロンドン銀行間取引金利）は前期末の0.20%程度から0.43%程度まで上昇して期末を迎きました。

## ■ポートフォリオについて

### <本ファンド>

本ファンドは、ゴールドマン・サックス米国インカム・バランス・ファンドおよびゴールドマン・サックスU.S.\$リキッド・リザーブズ・ファンドを主要投資対象とし、ゴールドマン・サックス米国インカム・バランス・ファンドを高位に組入れることにより、米国の株式および債券（ハイ・イールド社債を含みます。）をはじめ、リートやM&Pなどの幅広い資産に投資し、信託財産の成長を目指して運用を行いました。2016年3月に入り、繰上げ償還に向けて現金化を行いました。

### <ゴールドマン・サックス米国インカム・バランス・ファンド>

#### 【株式ポートフォリオ】

当期の株式ポートフォリオ部分のパフォーマンスは下落する結果となりました。セクター別では、電気通信サービスや公益事業のポジション、銘柄選択では、AT&T、ファーストエナジー、ウォルマート・ストアーズなどがプラス寄与となりました。一方、セクター別では、金融や資本財・サービスのポジション、銘柄選択では、ボーイング、デボン・エナジー、JPモルガン・チェース・アンド・カンパニーなどがマイナス寄与となりました。

#### 【債券ポートフォリオ】

当期の債券ポートフォリオ部分のパフォーマンスは下落する結果となりました。格付け別では、B格債のポジションがプラス寄与となった一方、CCC格債のポジションがマイナス寄与となりました。セクター別では、通信や消費（非景気循環型）のポジションなどがプラス寄与となった一方、エネルギーのポジションなどがマイナス寄与となりました。

### <ゴールドマン・サックスU.S.\$リキッド・リザーブズ・ファンド>

主として米ドル建ての短期金融市場証券に分散投資することにより、元本と流動性を確保しつつ、米ドルベースでの最大限の収益を得ることを目標として運用を行いました。

## ■ベンチマークとの差異について

本ファンドの値動きと比較する適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指標を設定しておりません。

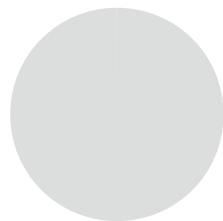
以上のような運用の結果、信託期間終了時における償還価額は、10,154円73銭となりました。

本ファンドは、信託約款の規定に基づき、2016年3月18日をもちまして繰上償還させていただくことになりました。

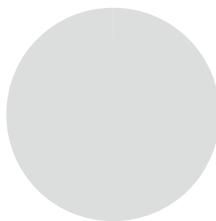
本ファンドを長らく保有頂きました受益者の皆様のご愛顧に感謝いたします。

**本ファンドのデータ****■本ファンドの組入資産の内容 (2016年3月18日現在)****○組入れファンド**

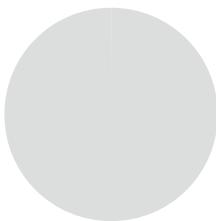
組入れはございません。

**○資産別配分**

その他現金等  
100.0%

**○国別配分**

日本  
100.0%

**○通貨別配分**

日本円  
100.0%

(注) 上記の比率は全て本ファンドの純資産総額に対する割合です。

**■組入上位ファンドの概要**

組入れはございません。

## ■ 1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要	
	2015年11月17日～2016年3月18日			
	金額	比率		
信託報酬 (投信会社)	36円 ( 2)	0.336% (0.018)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価	
	(販売会社) ( 33)	(0.309)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価	
	(受託会社) ( 1)	(0.009)	ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価	
その他費用 (保管費用) (その他)	119 (117) ( 2)	1.092 (1.077) (0.015)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外資産等の海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡に係る費用 法律顧問・税務顧問への報酬、印刷費用、郵送費用、公告費用、格付費用、証拠金利息の調整金額、支払外国税等	
	合計	155	1.428	
期中の平均基準価額は10,858円です。				

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。但し、各項目の費用は、本ファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## ■ 売買及び取引の状況（2015年11月17日から2016年3月18日まで）

## 投資信託証券

銘柄名	買付		売付	
	口数	金額	口数	金額
外 ゴールドマン・サックス (ケイマン諸島) ユニット・トラスト ゴールドマン・サックス米国インカム・ バランス・ファンド クラス I	2,100	千米ドル 18	口 37,118	千米ドル 322
国 ゴールドマン・サックス・ファンズ・ ピーエルシード・ゴールドマン・ サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ ファンド インスティテューションナル・ アキュムレーション・シェアクラス	—	—	0.738	9

(注) 金額は受渡し代金。

## ■利害関係人との取引状況等（2015年11月17日から2016年3月18日まで）

利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ■組入資産の明細（2016年3月18日現在）

償還日における有価証券の組入れはありません。

## ■投資信託財産の構成

2016年3月18日現在

項 目	償 還 日	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 15,707	% 100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	15,707	100.0

## ■資産、負債、元本及び償還価額の状況

項 目	償 還 日
	2016年3月18日
(A) 資 產	15,707,915円
コール・ローン等	15,707,914
未 収 利 息	1
(B) 負 債	70,199
未 払 信 託 報 酬	66,898
そ の 他 未 払 費 用	3,301
(C) 純 資 產 総 額(A-B)	15,637,716
元 本	15,399,433
償 還 差 益 金	238,283
(D) 受 益 権 総 口 数	15,399,433口
1万口当たり償還価額(C/D)	10,154円73銭

## ■損益の状況

項 目	当 期
	自 至 2015年11月17日 2016年3月18日
(A) 配 当 等 収 益	278,461円
受 取 配 当 金	279,585
受 取 利 息	△ 1,124
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△1,991,815
売 買 益	125,639
売 買 損	△2,117,454
(C) 信 託 報 酉 等	△ 308,899
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△2,022,253
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	986,362
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	1,274,174
(配 当 等 相 当 額)	( 1,050,905)
(売 買 損 益 相 当 額)	( 223,269)
償 還 差 益 金(D+E+F)	238,283

(注1) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(注3) 期首元本額は34,176,705円、当作成期間中において、追加設定元本額は71,700円、同解約元本額は18,848,972円です。

## ■投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2013年12月19日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2016年3月18日		資産総額	15,707,915円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	70,199円
受益権口数	15,000,000口	15,399,433口	399,433口	純資産総額	15,637,716円
元本額	15,000,000円	15,399,433円	399,433円	受益権口数	15,399,433口
				1万口当たり償還金	10,154.73円

## 毎計算期末の状況

計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	28,438,408円	32,952,546円	11,587円	0円	0.0000%
第2期	34,176,705	39,204,124	11,471	0	0.0000

## ■償還金のお知らせ

1万口当たり償還金

10,154円73銭

◇個人の受益者については、償還金が個別元本を上回る場合、上回る部分が課税対象となります。

◇税率は、個人の受益者については原則20.315%（所得税15.315%、地方税5%）です。

◇税法が改正された場合等には、上記内容が変更になる場合もあります。